

協会設立の趣旨

世界の人々は、「シルクロード」という言葉に何とも言えぬロマンや歴史、文化の匂いを感じとり、憧れをいだくと思います。事実、シルクロードは紀元前の世紀から中国と欧州(ローマ)を結び東西の貿易路であり、2000年以上にわたって様々な国際交流、文化を育んできた「文明と歴史の交差点」でもあったのです。

ウズベキスタンは、そのシルクロードのど真中に位置し、砂漠とオアシスの国家としての歴史をもつ国です。タシケント、サマルカンド、ヒワ、ブハラなど学生時代に学んだ中央アジアの歴史上に名を残す都市の名前を思いおこすでしょう。それらの都市を抱えて1991年に旧ソ連邦から独立した国が「ウズベキスタン共和国」です。

紀元前にはギリシャ、ペルシャ、紀元後に入ってからトルコ族、イスラム、モンゴル、そして旧ソ連などが、つねにシルクロードの戦略的要地として支配したり、攻め込んだりした地です。14世紀にあのチムール大王を輩出して大チムール帝国を築いたことがあります。

1991年の独立以降は、市場経済化による近代開発をめざしながら、中央アジアの中心的な国として存在感を増しています。

私たち「日本ウズベキスタン協会」は、そのウズベキスタンと日本の歴史的なつながり、親日的な国づくりの努力、戦後のシベリア抑留からウズベキスタンへ強制移住させられた抑留者の方々の感動的なシルクロードの日本人伝説秘話などを絆に、シルクロードとウズベキスタンの人々や文化・歴史を通じた友好親善を深めています。1997年11月に本部事務局を開設し、翌年4月の第1回総会からスタートしたボランティア団体で現在はNPO(特定非営利活動法人)として届け出ています。ウズベキスタンを中心とする中央アジアやシルクロードの歴史・文化・人々に興味と関心を抱き、ボランティアや交流・勉強などをしてみたいと思う方々は、ぜひご入会ください。



日本ウズベキスタン協会会長
(ジャーナリスト) 梶 信彦

入会のご案内

日本ウズベキスタン協会は、現在20歳代から80歳代までの男女約600名の個人会員と30社の法人会員が登録しております。

会員の特典

協会事業の企画・運営に参加できます：事業は会員のボランティア活動により実施されます。新会員の皆様の参加を歓迎します。
広報誌「Assalomu alaykum!」(年4回発行)を無料でお届けします。
協会の諸事業への優先的参加、会費割引サービスが受けられます：協会主催の海外旅行・文化展・シンポジウム・懇親会・その他各種交流事業を催しています。
事務局より最新の活動ニュースを配信します：メールアドレスを事務局へ登録していただきますと、広報誌に先立って最新のニュースをお知らせいたします。

入会申込書 (FAX用)

日本ウズベキスタン協会の趣旨に賛同し、入会の申込みをいたします。

(ふりがな) 法人の場合
氏名 担当者名

法人の場合
法人名

〒
住所

電話 FAX

E-mail

職業

法人会員	入会金	20,000円	□	円	合計	円
	年会費	一口 30,000円				
個人会員	入会金	2,000円	□	円	合計	円
	年会費	一口 5,000円				

お支払い どちらかに✓を 銀行振込 郵便振込

以上の必要事項を書き込みましたら
切り取らずに、見開いた状態のまま
FAX送信してください



個人情報について

当協会は、会員の個人情報を法令に従って適切に管理し、当協会の事業の目的にのみ利用いたします。

特定非営利活動法人(NPO)日本ウズベキスタン協会事務局

〒105-0003 東京都港区西新橋1-17-1 ジェスパービル3F

TEL: 03-3593-1400 FAX: 03-3593-1406

E-mail jp-uzbeku@nifty.com URL http://homepage2.nifty.com/silkroad-uzbek/

ご送金先 三井住友銀行 日比谷支店 普通預金 No.7012697

郵便振替口座番号 00190-0-18080

(口座名義は「日本ウズベキスタン協会」)

2006年5月作成



特定非営利活動法人(NPO)

日本ウズベキスタン協会

NPO The Japan Uzbekistan Association

私たちは、シルクロードの国ウズベキスタンと日本との
人と文化の交流を目的とした団体です



ウズベキスタンの

人と文化を
知る

人と文化に
親しむ

人と文化を
広める

この3つの柱を中心に活動しています



人と文化を知る

1 留学生とトークの会



ウズベキスタン・中央アジアなどからの留学生たちとの気楽なサロンです。留学生たちにウズベキスタンや中央アジアの文化、習慣あるいは日本で感じたことなどを語ってもらい自由に活発な話し合いをします。ときにはテニス、ボーリング、蕎麦打ちなど共に汗を流し舌鼓を打って、一緒に楽しみ交流を深めます。日本人と共通の気質を持つ留学生たちの若々しく真剣に夢を追う姿に感動することでしょう。最近ではアジア各国の留学生たちも参加して広がりを見せています。

2 在日ウズベキスタン人との交流



いろいろな施設の見学や、お花見など日本の季節の行事に共に参加することを通じて、肌で日本を知っていただく活動をしています(文化交流委員会)。女性・子供に対しては、日本語・文化・料理・手芸等の教室を開いたり、日本における日常生活に関わるアドバイスをすること等を通じて、相互理解を深めることに務めています(オイラの会)。また、ウズベキスタンの手工芸品や物産を紹介するために、年数回バザーを開催しています(ローラの会)。

3 ウズベク語講座



留学生を講師に迎え、初級クラスでは旅行などで買い物ができる程度の日常会話から始め、中級クラスでは会話を含め歴史、文学等の文章を読みながらウズベキスタンの文化・習慣等の勉強をしています。

人と文化に親しむ

ウズベキスタンへ行こう!



旅行企画委員会が年1回企画する、会員限定のウズベク旅行です。現地の人達との交流などを含め通常のバックツアーでは体験出来ない協会独自の旅行プランを企画します。ウズベク初心者の方や旅慣れない方も、事前の講習会でみっちりサポートします。

UZBEKISTAN

人口	2,640万人
面積	44万7000km ² (日本の約1.2倍)
首都	タシケント(230万人)
通貨単位	スム
主要言語	ウズベク語、ロシア語
民族	ウズベク人(77.2%) ロシア人(5.2%) タジク人(4.8%) カザフ人(4%) カラカルパク人(2.1%) タタール人(1.4%) キルギス人(0.9%) トルクメン人(0.6%) その他(3.8%)
宗教	イスラム教スンニ派が主流
GDP	120億ドル

(2004年推計)

1991年8月に旧ソ連より独立した中央アジアのほぼ中央に位置する多民族国家で首都タシケントは人口230万人を擁し地下鉄もあります。航空機を製造する一方天然資源が豊富で、金の生産は世界5位、綿花も世界4位でアメリカに次ぐ第二の輸出国、石油・天然ガス・食料の自給体制が整っているうえ、鉄鉱石・石炭などの埋蔵も確認されています。ウズベキスタンは、かつての中国とローマを結ぶシルクロードの中心地に位置していて、ヨーロッパに近代国家ができるまでの間、ユーラシア大陸の交易の中心地で、その地政学的な重要性は今日にも及んでいます。

人と文化を広める

1 シンポジウム

文化交流展とは別に年に1回、国際政治シンポジウムを行っています。中央アジア・イスラム問題や米・中・日の関係、グローバルイゼーションなどその年にもっとも関心の高いテーマを選び、著名な学者、文化人、ジャーナリストを迎えています。

2 文化交流展



協会イベントの大きな柱がシルクロード文化交流展です。定期的で開催し、1週間の文化展示会で、開催中にシンポジウム、講演会、バザー、料理教室、中央アジアを中心とした外国人との懇親会などを行います。東京以外では横浜、下関、瀬戸内海の生口島などで行

ってきました。毎回多くの入場者が来場されますし、愛知万博の中央アジア館への協力といったイベントもあります。

3 広報誌「Assalomu alaykum!」・ホームページ・メール配信

広報誌編集委員会が編集し年4回、広報誌を発行。協会ニュースや会員エッセイ、中央アジアからの便り、在日ウズベキスタン人らの投稿など多種多様な記事が満載です。HPは随時更新し、協会活動の全てが把握できるよう工夫し、ご意見も掲載しています。ご自分のEメールアドレスを事務局へ登録しますと、最新の活動情報が事務局より直接配信されます。

4 出前講座

当協会の会長でジャーナリストの篤信彦が政治・経済・国際問題などをわかりやすく解説し、意見交換をする会です。定員約50人で年5回、毎回3時間の熱気あふれる講座です。

5 学校訪問・講演会



小・中学校の「国際交流」「道徳」授業の一環として、依頼があると留学生と共にシルクロード文化などを紹介します。市民講座などへ「シルクロードの日本人伝説」といったテーマで専会長が地方へ講演に伺うこともあります。